

関東大震災100年の取り組みとして、 首都直下地震対応訓練(道路啓開訓練)を実施

令和5年8月3日(木)に関東地方整備局にて、関東大震災100年の取り組みとして、「首都直下地震対応訓練(道路啓開訓練)」を実施しました。

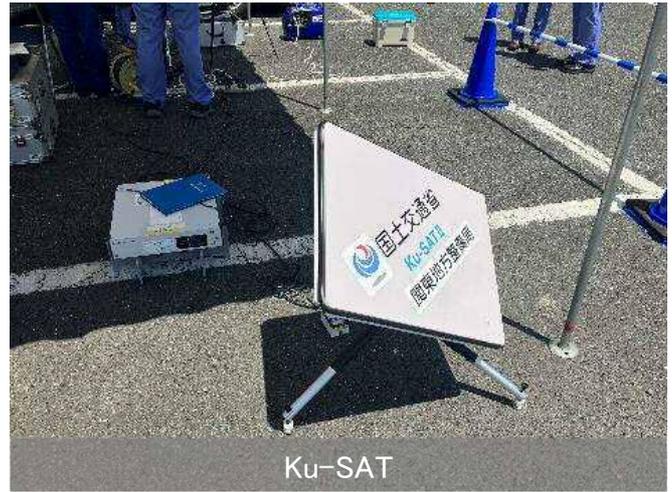
本訓練は、首都直下地震に備え、道路啓開計画の八方向作戦の実効性を高めるため、新技術・多様な手段により被災状況や交通状況を迅速かつ確実に把握・共有するとともに、関係機関と連携し、道路啓開作業を行う実動訓練です。

大宮国道事務所では、啓開路線の集結拠点であるポートレース戸田駐車場で衛星通信経路確保および災害対策本部への映像配信方法の確認を目的とした「Ku-SAT設置訓練」と、応援支部からの先遣隊受入および災害対策本部への報告の流れの確認を目的とした「応援支部の出動訓練」を実施しました。

Ku-SAT設置訓練



Ku-SATの設置および映像配信の様子



Ku-SAT

応援支部の出動訓練



WEB会議接続の様子(局長による開会挨拶)



応援支部から受入・状況整理の様子

今回の訓練をはじめ、様々な訓練を通して災害への対応力の向上、関係機関とのより一層の連携強化を図ってまいります。